

嫌われたペットボトルと人間

朝、ペットボトルと空き缶を片付けようと、一時保管している BOX から、ビニール袋に詰め込んでいたら1本のペットボトルが袋から飛び出した。これを名付けてペー君と呼ぼう。

袋が一杯なのかと思い、別の袋に入れたがこれも同じように飛び出した。二つの袋の中を少し整理して、また入れてみたが同じことの繰り返しである。よく見ると、飛び出したペー君は形も大きさも違っている。

このペー君以外は、種類は違うがどんぐりの背比べで、形も大きさも似たもの同士。「あゝそうか、どんぐり君はみんな仲間で、手をつないで先に入っていて、ペー君はここでは異様で後入りだったからか」と勝手な解釈をした。

人間はどうだろう？

相手に都合の良い人は好かれる。迎合しておべっかを使えば「あっちえ行け」とは言われない。上手に相槌をうっていけば、事無く収まり好感を持たれる。気性が合えば気分が良く相手にされる、その反対だと嫌われる。会議などでもそうだ、意見が対立すると必ずしもそうとは言わないが、相手が不愉快になり後で陰口をたたかれ、双方が不快感を覚える。だからと言う訳でもないだろうが、最初から最後まで発言しない人もいる。意識的なのか・理解できないのか知る術もないがあまり感心しない。

「沈黙は金、雄弁は銀」「触らぬ神に祟り無し」の諺があるけれども、私はあまり好きではない。言うべき事は言い・やるべき事はやる、私の性分なのだろう。美空ひばりの歌謡曲の中に「これこれ石の地蔵さん、西へ行くのはこっちかえ、黙っていてはわからない」との歌詞がある、まったくその通りだ。会議なのだ「黙っていては分からない」ディスカッションやディベートの場だ。だからと言って、自己主張や議題から逸れた発言は禁物ではないか。

「付和雷同」もいただけないが、往々にしてある。どう思うかは人それぞれだ。好みもいろいろあるが、顔つき・スタイル・声・話し方・態度などで、好き嫌いを決められてしまうこともある。しかも、話もしたことがない、何処の誰かも知らない人から見た目だけで。

どこか、前出のペットボトル（ペー君）と似ているケースと思える。物も人間も時には同じような結末（仕打ち）が待っているのか？

現代人は、服装や言葉遣いにしても・意識や行動にしても多種多様である。見た目や直感だけで、簡単に評価はできないし、決め付けるべきではないと、改めて考えさせられた朝だった。